

取扱説明書

X2C

MULTI GAUGE ø60

この度はPIVOT X2C (CAN通信車専用用品) をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき、ご理解のうえで装着・使用してください。
なお、本書は大切に保管してください。

<p>警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●製品は安全な場所に確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると、運転操作ができず大変危険です。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●配線はテープなどで収納する 配線処理や製品固定は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。 ●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない 故障の原因となります。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	--

1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、取付できません。
2. 故障診断コネクタを利用する他社の製品とは併用できません。

内容物をご確認ください



特長

X2Cは、故障診断コネクタに差し込むだけでCAN通信を解析し、水温と吸気温の2種類を切替表示できるメーターです。

水温を知る

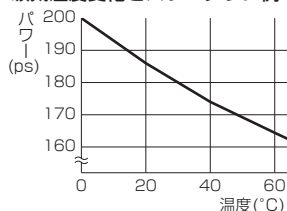
水温は、オーバーヒートやパワーダウンなどエンジン不調の原因となります。その水温を知ることで、ベストコンディションを確認できます。

吸気温を知る

吸気温が 20℃上がるとパワーが 12ps もダウン(※)するため、スポーツ走行などでは注意が必要です。

※エンジン出力が 200ps のクルマまでの空気密度による計算値で、実際の数値とは異なります。

吸気温度変化とパワーダウン例

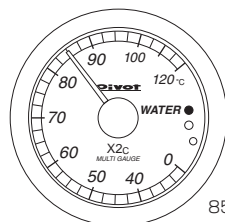


2種類表示	水温・吸気温の2種類を切替表示
スムーズ動作	独自制御で滑らかな針動作
見やすいLED透過照明	ムラのないLEDによる透過照明(作動中は常時点灯)
ピークホールド	ピーク値を記憶して表示
カブラーオンの簡単装着	故障診断コネクタに差し込むだけの、簡単装着
ステップングドライブ	高精度ステップングモーター採用で高精度表示

各表示と用途

1. 水温

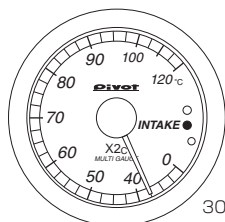
表示 0℃~120℃
用途 ●オーバーヒート
●暖機チェック など



85℃表示例

2. 吸気温

表示 0℃~120℃
用途 ●吸気温チェック など



30℃表示例

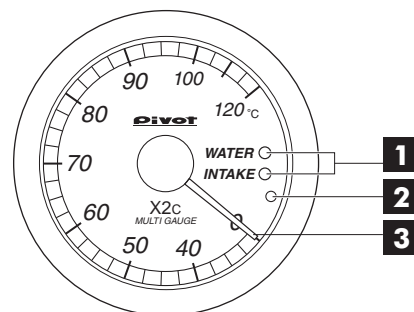
3. ピークホールド

用途 ●最高水温チェック ●最高吸気温チェック

オープニングデモ

オープニングデモのとき、針はマイナス方向に小刻みに複数回動きます。その後最大値を指し、現在の表示項目に移ります。
※CAN 通信解析のため、エンジン始動後オープニングデモまで最長 5 秒かかる場合があります。

各部の名称



- 1 モードランプ** 使用しているモードを表示。
- 2 スイッチ** モード切り替えやピーク値リセット用。
- 3 針** 現在の数値やピーク値を指します。

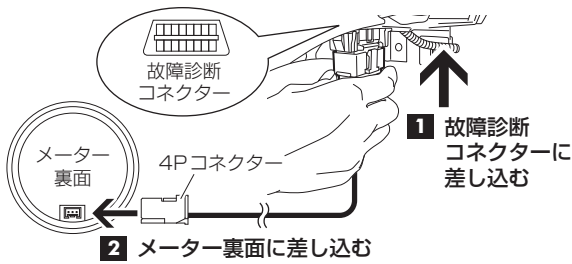
照明の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から照明が消えるまで最長3分かかりますが、正常な動作です。

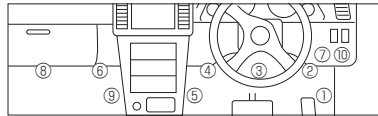
配線接続方法

1 OBD2 コネクタを故障診断コネクタに差し込む。

2 4P コネクタをメーター裏面に差し込む。



【資料】故障診断コネクタ位置図



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側（フタ付の場合あり）
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側（フタ付の場合あり）
- ⑤ センターコンソール右脇
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング脇パネル裏（フタ付）
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ ステアリング右パネル（小物入れ上部）

トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩
ニッサン	①②③④⑤⑦	スバル	②③
ホンダ	②④⑤⑥⑧⑨	スズキ	②④
三菱	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤

【参考】OBD2 コネクタの取扱時の注意点

差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

注意

コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。

OBID2 製品の併用について

X2C を PROGAUGE・REV LAMP シリーズや、3-drive シリーズ (FLAT、COMPACT) と併用する場合は、別売の OBD2 配線キット (OBD-EH ¥3,360・税込) を使用すると簡単に取り付けられます。

製品の併用についての詳細は、こちらをご覧ください。

http://pivotjp.com/information/obd_conjunction.html

※X2C と上記の製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

製品の固定

車内の見やすい場所に取り付けます。

A. バンドホルダーを使用する

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュ上など)

- 1 ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。
- 2 装着面の形状に合わせて、スタンドを曲げる。
- 3 両面テープで固定する。(貼り付け部の油分や汚れは、キレイにする。)
- 4 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。

B. パネルなどに埋め込む

- 1 メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 2 直径60mmの穴に圧入状態で差し込む。

基本操作方法

CAN通信解析のため、エンジン始動後オープニングデモまで最長5秒かかる場合があります。

- 1 キースイッチ ON (エンジン始動)
- 2 オープニングデモ
- 3 水温/吸気温表示
- 4 キースイッチ OFF (エンジン停止)
- 5 メーター OFF 針は0付近で止まります。

各表示切替 スイッチを押すごとに、水温/吸気温表示が切り替わります。

水温 (リアル)

WATER ランプ点灯

スイッチ2秒長押し →

水温 (ピーク値)

WATER ランプ点滅

6秒間操作なし →

スイッチ押すごとに切り替わり

吸気温 (リアル)

INTAKE ランプ点灯

スイッチ2秒長押し →

吸気温 (ピーク値)

INTAKE ランプ点滅

6秒間操作なし →

ピーク値のリセット方法

ピーク値表示中

→

スイッチ 2秒長押し 2秒 押す

↓

リアル表示に戻る ← ピーク値リセット

※リセットはピーク表示している項目のみです。
 ※各ピーク値はキー OFF でも記憶されています。ただし、バッテリーやコネクタを外すと、ピーク値はリセットされます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	4Pコネクタ・OBD2コネクタの接続不良。 対応外の車種に取り付けている。	再度ご確認ください。 対応車種表をご確認ください。
始動時、切り替えたモードから始まらない。	モード切り替え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	